

第1回 八尾市廃棄物減量等推進審議会・議事要旨

【日時】平成22年10月2日（土）午後3時30分～午後4時30分

【場所】八尾市役所 本庁8階 第2委員会室

【出席委員】吉田委員、福岡委員、吉川委員、花嶋委員、前田(公)委員（以上学識経験者5名）
佐郷委員、山崎委員、小松委員、中西委員、高塚委員、辻井委員、中野委員、
森本委員、林委員、榊井委員（以上団体代表10名）
桶谷委員、前田(吉)委員、西田委員、笠原委員、北山委員（以上市民公募5名）
・・・ 合計 20名

【欠席委員】なし

【傍聴者】1名

【事務局】角柿部長、竹田理事

益井課長、西野課長補佐、上谷係長、瀧澤副主査（資源循環課）

田口課長（環境保全課）、馬場課長（環境事業課）

経済環境部次長兼吉岡課長（環境施設課）

【議事概要】（注：発言内容は、要約して掲載しています。）

1. 開会

2. 委員・事務局の紹介

3. 会長・副会長の選出

会長に吉田委員を、副会長に福岡委員を選出する。

議長交代

4. 八尾市の取り組み（ビデオ上映）

○事務局

先程上映した8種分別ビデオは、職員が撮影した八尾市手作りのビデオです。

現在、八尾市では、収集したペットボトル等を容器包装リサイクル協会にAランクで引き取っていただいています。

容器包装プラスチックやペットボトルは、収集後、国が定めた容器包装リサイクル協会に引き渡します。その際引き渡し基準があり、異物混入の割合が、重量比で1割未満はAランク、その割合が上がってくると、Bランク、Cランクとなり引き取りを拒否されます。

そうすると、以前奈良市では、引き取り拒否された収集物を山中の処分場に放置し、異臭がしたという問題になりました。

八尾市では幸い今のところAランクですが、その前段には手選別があります。リサイクルセンターに持ち込まれたものを人間の手で異物、または汚れのひどいものを取り除いています。センターで約2割の異物を除いています。つまり、収集した容器包装リサイクルの内、3割は異物が混入しているということになります。

容器包装リサイクル協会に引き渡すと、そこからリサイクルしている会社に引き渡します。そこでさらに異物を取り除き、洗浄して、やっとりリサイクルする材料になったり熱回収したりできます。収集から資源化まではかなり人の手がかかっているということです。

今後、われわれが活動を続けていくにあたり、容器包装を排出する際にはなるべくきれいな状態で排出していただくようにお願いします。置き水で洗っていただくとか、マヨネーズ、ケチャップの空容器は半分に切って洗うなど、市からもその方法をみなさまにお示ししていきます。排出方法のPRに努めたいと考えております。

○委員

別紙の八尾市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)について(答申)(平成20年9月)の③に「…ごみ減量推進員の育成」という記述がある。私は、ごみ減量推進員を引き受けたが、市から育成はされていない。委員になっていただいた人には、きちんと教育するべきである。私自身はリサイクルセンターに5、6回見学に行き、リサイクルの仕組み等理解しているので、近所の人にごみ減量について聞かれたら細かく説明している。

市は、リサイクルを推進するのに減量推進員の力を借りていかなければならないのではないか。

○事務局

確かにおっしゃる通りです。減量推進員を選出するにあたり、まず自治振興委員の役員会を通じてお願いしました。結果的に、ほとんどの減量推進員は自治振興委員さんがされています。

八尾市には、約700人の自治振興委員さんがおられます。その方達に、まず地域のリーダーになっていただき、分別減量のご指導を賜りたい。具体的にどのように指導していただくかは、また検討します。よろしくをお願いします。

5. 委嘱状の交付

6. 諮問

市長より諮問書を交付する。)

事務局より諮問理由を説明する。

7. その他

事務局説明

- ・次回日程

平成22年11月18日

- ・会議の公開

次回以降も、原則公開とする。

議事終了